

## 今とはかなりちがう事やろう

その歌をうたう時だけは、声を張り上げていた。その後、誕生日の祝辞に対する校長の言葉、並びに、我が学園を離れ去るにあたり、送別の言葉、「ああ、もうこの人とお別れか。」と何となく、あ然とした調子。

高校三年の英語はいつも  
毎年の校長が担当していた。  
「高三の英語が楽しみだったのに。」  
とがっかりもしてた。  
帰宅十二時。

父ちゃん起こして、  
高校の僕の内申名簿等を見せた後、  
兄貴の制服からIIのバッチを見つけだし、  
はさみで切り離して無理にIにして服につけ  
身分証明書用の写真を取ってもらう。

その後、絵を書きにゆく。

宇治川の土手は、きれいな  
春の色が出はじめている。  
あめ玉を口にコロコロさせながら、絵を書く。  
今日はなかなかいい天気。

たびたび、そばを通りがかかる人が見に来る。  
「ぼん、ええ趣味もってるなあ。」  
「お宅さんは、魚つりですか。」  
話はずむ。

